



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日：令和4年5月20日

**知徳体バランスよく
資質能力の育成を目指し
確かな学力の育成**

ける目標と具体的な取組にかかわっての交流や、私からの指導助言となっています。「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」、知・徳・体バランスの取れた教育活動に取り組み、本校が育成を目指す資質能力の育成を図っていくことを再確認しているところです。

確かな学力の育成に向けて

保護者の皆様のご協力により、「個人面談」を滞りなく実施することができました。

現在、本校においては、私（校長）と先生方との年度当初の「個人面談」を実施しています。面談の内容は、学習指導や生徒指導、いじめ対応、担当の係業務等にお



1年生でも学び合いが始まっています。

◇基礎・基本の確実な定着

- 「学びの6か条」「声のものさし」「意見の出し方・聞き方」を定着させるとともに、「立腰」指導を通して、授業に集中できる子どもを育てます。
- 家庭学習の習慣化に努めます。〈学年×10分+10分/「手引き」の有効活用による家庭等の連携/「家庭学習名人コーナー」の有効活用等〉
- iPad(e ライブラリー等)やドリル・ミニテスト等(漢字・計算)を授業で活用し、文字を書く力や計算力等を身に付けさせます。
- 放課後サポート学習を通して基礎的な学力の定着に努めます。
- 夏休みを活用した「サポート学習」を通して基礎的な学力の定着に努めます。
- 少人数指導(算数科/習熟度別/4年生以上)を通して個に応じた指導の充実に努めます。
- 全ての児童が授業に集中できるようユニバーサルデザインの視点に立ち、教室の環境を整えます。

◇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 全ての教科において、児童が考えたいくなるような課題の設定、必要感のある対話、深い学びにつながる振り返りなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業を通して、本校が育成を目指す資質・能力を身に付けさせていきます。
- iPadをはじめ ICT を有効に活用し、児童主体の個別最適な学びとなるよう努めていきます。